

平成 29 年度

主要事業の進捗状況等について

教育委員会

「あいちの教育ビジョン2020」の取組について

1 「あいちの教育ビジョン2020」の概要

○位置付け 教育基本法第17条第2項に規定する本県の教育振興基本計画

○計画期間 平成28～32年度（5年間）

基本理念 「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現

～めざす「あいちの人間像」～

【共に生きる】自他の命を大切にし、多様な人々の存在を尊重して生きることのできる人間

【自分を生かす】互いに切磋琢磨し、自らの力を社会に生かすことのできる人間

【学び続ける】生涯にわたって健やかな体と心をつちかい、学び続けることのできる人間

【あいちを創る】あいちの伝統と文化、「ものづくりの精神」を継承し、新たな価値を生み出すことのできる人間

【世界にはばたく】次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間

「あいちの人間像」を実現する五つの基本的な取組の方向

- 1 個に応じたきめ細かな教育を充実させ、一人一人の個性や可能性を伸ばします
- 2 人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、道徳性・社会性を育みます
- 3 健やかな体と心を育む教育を充実させ、たくましく生きる力を育みます
- 4 未来への学びを充実させ、あいちを担う人材を育成します
- 5 学びがいのある魅力的な教育環境づくりを進めます

2 「あいちの教育ビジョン2020」に基づく取組（平成29年度）

取組の柱1

個に応じたきめ細かな教育を充実させ、一人一人の個性や可能性を伸ばします

○ 個に応じたきめ細かな指導の充実

- ・ 少人数学級の継続実施〔小学2年、中学1年の県独自35人編制〕
- ・ 全国学力・学習状況調査の結果分析、学力向上のための取組

○ 多様な学びを保障する学校・仕組みづくり

- ・ 城北つばさ高校の開校〔本県初の二部制単位制の県立定時制高校〕
- ・ 普通科コースの新設〔一宮西（国際理解）、東郷（美術）、豊田（医療・看護）〕
- ・ 福江高校・福江中学校への連携型中高一貫教育の導入

○ 特別支援教育の充実

- ・ 知的障害特別支援学校（大府もちのき、尾張北東地区）の新設準備
- ・ 西三河南部地区新設特別支援学校の整備調査〔本県初の知能併置〕
- ・ 刈谷市立特別支援学校（肢体不自由）整備への支援

○ 理数教育の推進

- ・ 県立高校におけるあいちSTEM教育推進事業の実施
〔教育課程の研究開発（研究指定校5校）、教員の指導力向上（研究指定校8校）等〕

○ 日本語指導が必要な子どもたちへの支援の充実

- ・ 小中学校への日本語教育適応学級担当教員の配置〔391人〕
- ・ 教育事務所への語学相談員の配置〔11人〕
- ・ 県立高校への外国人生徒教育支援員の派遣〔33校〕

○ 貧困状態にある子どもたちへの支援の充実

- ・ 中学生等を対象とした『地域未来塾』による学習支援
- ・ 高校中退者等を対象とした『若者・外国人未来応援事業』による学習支援

(無料)

取組の柱2

人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、
道徳性・社会性を育みます

取組の柱3

健やかな体と心を育む教育を充実させ、たくましく
生きる力を育みます

○ いじめ・不登校等への対応の充実

- ・スクールカウンセラーの配置
〔小学校 177 人、中学校 271 人、小中連携校 35 人
高校 54 人、スーパーバイザー 5 人（小中 3 人、高校 2 人）〕 市町へ
- ・スクールソーシャルワーカーの配置〔16 市町、高校 6 人〕 助成
- ・児童生徒支援対応教員の配置〔156 人〕
- ・家庭教育相談員、ホームフレンド（大学生）による相談支援
- ・24 時間いじめ電話相談（子ども SOS ほっとライン 24）の実施
- ・ネットパトロールの実施
- ・『学校いじめ防止基本方針』に基づく校内指導体制の充実
- ・『いじめ防止』を重点テーマとした教育キャンペーンの実施

○ 道徳教育の充実

- ・『特別の教科 道徳』の実施に向けた研修会の開催
〔全面実施 小学校：平成 30 年度、中学校：平成 31 年度〕
- ・道徳教育総合推進サイト「モラル BOX」による情報発信
- ・実践指定校による道徳教育の実践〔高校 8 校、特別支援学校 2 校〕

○ 人権教育の推進

- ・研究指定校による実践的な研究の実施〔小：2 校、中：1 校〕
- ・教職員を対象とした人権教育に関する研修の実施
- ・PTA 関係者等を対象とした研修会の開催

○ 主権者教育の推進

- ・県立高校における指導事例集の作成、配付
- ・関係機関と連携した労働問題等に関する出前授業の活用

○ 学校体育の充実

- ・全国高等学校総合体育大会の開催準備〔平成 30 年 7 月～8 月〕
- ・伝統や特色を生かし、活躍が期待できる部活動への支援
- ・『部活動指導ガイドライン』の策定に向けた検討〔平成 30 年度早期〕
- ・小・中学校向け『体力向上運動プログラム』の普及啓発

○ 家庭教育・子育ての支援の充実

- ・放課後子ども教室の拡充
- ・幼稚園、保育園等の保護者を対象とした家庭教育研修会の開催
- ・企業への講師派遣による保護者等への研修会の開催

○ 幼児教育の充実

- ・生涯にわたる学びを支える幼児教育の研究成果の普及
- ・次期幼稚園教育要領（平成 30 年度実施）を踏まえた小学校教育との連携の推進

○ 健康教育・食育の推進

- ・自殺予防教育の推進に向けた研修会の開催〔教員等約 600 人〕
- ・栄養教諭の配置拡大〔小学校 144 人、中学校 60 人〕
- ・食に関する指導充実のための実践的な講座の開催〔教員等約 600 人〕

○ 安全教育の推進

- ・名古屋大学と連携した高校生防災セミナーの開催
- ・防災教育マニュアルの普及啓発〔小、中、県立学校全校配付〕

取組の柱4

未来への学びを充実させ、あいちを担う人材を育成します

○ 社会人・職業人としての自立に向けたキャリア教育の推進

<小・中学校>

- ・ 主体的に取り組む体験的活動の実施
- ・ 全公立中学校における職場体験の実施

<高校>

- ・ 愛知総合工科高校専攻科の公設民営化〔学校法人名城大学〕
- ・ 全普通科高校でのキャリア教育に関する授業の実施〔3年間で35時間以上〕
- ・ キャリア教育コーディネーターの活用〔4人〕
- ・ 産業教育設備の整備・充実

<特別支援学校>

- ・ 就業率の向上を目指した就労アドバイザーの活用〔2人〕
- ・ 豊橋特別支援学校山嶺教室の卒業生（1回生）が就職〔3人〕

○ グローバル化への対応の推進

- ・ スーパーイングリッシュハブスクール（12校）におけるALTの常駐
- ・ 高校生の海外短期留学への支援
- ・ 高校生（専門学科）海外インターンシップの実施
- ・ 高校生を対象とした国際大会ボランティア養成講座の開催
- ・ 県立高校教員の英語力の強化〔豪ビクトリア州への派遣（6人）〕

○ 環境教育・ESDの推進

- ・ ユネスコスクール（ESD活動の推進拠点）の活動支援

○ オリンピック・パラリンピック教育の推進

- ・ トップアスリートを活用した子どもの運動・スポーツに親しむ取組
- ・ 本県ゆかりの日本代表レベルにある選手の強化・次世代選手の育成支援

○ 伝統文化・文化財の継承と新たな文化の創造

- ・ 清洲貝殻山貝塚資料館の拡充整備に向けた実施設計（H32秋頃開館予定）
- ・ あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力発信
- ・ 旭丘高校始め13校の門柱の登録有形文化財（建造物）登録
- ・ 杉原千畝顕彰施設の整備〔瑞陵高校校地〕

取組の柱5

学びがいのある魅力的な教育環境づくりを進めます

○ 教員の養成・採用・研修の改善

- ・ 教員の資質向上に関する『指標』の策定及び『教員研修計画』の再構築
- ・ 県総合教育センターを中心とした研修体制の整備
- ・ 教員採用選考試験における多様な特別選考の推進

○ 開かれた学校づくりと多忙化解消への支援

- ・ 『教員の多忙化解消プラン』に基づく取組の推進
- ・ 東三河地域における小中高特連携教育の充実・発展
- ・ 地域と学校との連携による『地域学校協働活動』の推進

○ 県立学校の施設・設備の充実

<耐震対策>

- ・ 武道場等吊り天井耐震対策の実施（～H34）先行設計：28棟

<老朽化対策>

- ・ 校舎等大規模改造工事の実施（～H31）工事施工：15棟
先行設計：8棟
- ・ 県立学校施設長寿命化計画策定に向けたモデル調査等の実施

<特別支援学校の環境整備>

- ・ 空調設備の設置（～H32）〔全校〕先行設計：284教室
- ・ トイレの整備（～H33）〔肢体不自由〕先行設計：40か所
- ・ 安全対策機器（防犯カメラ）の設置（H29）〔全校〕
- ・ 緊急通報装置（パトライト）の設置（～H30）〔聾〕先行設計：5校

<新城東高校、新城高校の統合に伴う環境整備>

- ・ 地域のニーズを踏まえた新しいタイプの総合学科への改編に相応しい整備内容を検討